

平成 2 8 年第 3 回

長万部町議会臨時会会議録

平成 2 8 年 8 月 2 日 開会

平成 2 8 年 8 月 2 日 閉会

長 万 部 町 議 会

目 次

平成28年 8月 2日（火曜日）第1号

○招集年月日	-----	1 頁
○招集の場所	-----	1 頁
○開 議 日 時	-----	1 頁
○応 招 議 員	-----	1 頁
○不応招議員	-----	1 頁
○出 席 議 員	-----	1 頁
○欠 席 議 員	-----	1 頁
○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○本会議に職務のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○議 事 日 程	-----	2 頁
○開会・開議宣告・議事日程	-----	3 頁
○諸般の報告	-----	3 頁
○会議録署名議員の指名	-----	3 頁
○会期の決定	-----	3 頁
○議案第1号 平成28年度長万部町一般会計補正予算（第4号）	-----	3 頁
○閉 会 宣 告	-----	6 頁

平成28年第3回長万部町議会臨時会（第1日目）

◎招集年月日 平成28年 8月 2日（火）

◎招集の場所 長万部町役場 議場

◎開議日時 平成28年 8月 2日（火） 午前10時00分

◎応招議員（10名）

1番	北川佳嗣	6番	大谷敏弥
2番	長崎厚	7番	村川毅
3番	辻紀樹	8番	角健
4番	高森功治	9番	柏倉恵里子
5番	橋本收司	10番	辻義雄

◎不応招議員 なし

◎出席議員 応招議員に同じ

◎欠席議員 不応招議員に同じ

◎地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	木幡正志	建設課長	神野隆之
副町長	河内能宏	教育委員長	北山陽子
総務課長	本前武広	教育長	鈴木祐司
産業振興課長	中山裕幸	学校教育課長	岡野喜美雄
産業振興課参事	中田信樹		

◎本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	岡部忠
議事係長	増田理恵
議事係	岡田幸

◎議事日程

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 日程第 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第 2 | 会期の決定 |
| 日程第 3 | 議案第 1 号 平成28年度長万部町一般会計補正予算（第 4 号） |
-

◎開会・開議宣告・議事日程

１０時００分 開会

○議長（辻義雄） ただ今の出席議員は１０名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成２８年第３回長万部町議会臨時会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

◎諸般の報告

○議長（辻義雄） 諸般の報告を事務局長からいたします。

岡部事務局長。

○議会事務局長（岡部忠） 諸般の報告をいたします。

平成２８年第２回定例会において可決されました、道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書他１件につきましては、
６月２１日付けをもって、北海道知事及び内閣総理大臣他関係大臣にそれぞれ送付いたしました。

また、監査委員から５月分、６月分の出納検査報告書、各議員から議員派遣結果報告書が提出されましたので、それぞれ配布いたしました。

次に、本臨時会に議案等の説明のため、あらかじめ町長及びそれぞれ委任または囑託を受けた説明員の出席を求めています。以上であります。

○議長（辻義雄） 以上で、諸般の報告を終わります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（辻義雄） 日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第１２５条の規程により、議長において１番北川議員、９番柏倉議員を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（辻義雄） 日程第２、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日１日としたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日１日と決定いたしました。

◎議案第１号 平成２８年度長万部町一般会計補正予算（第４号）

○議長（辻義雄） 日程第3、議案第1号、平成28年度長万部町一般会計補正予算（第4号）の件を議題といたします。

説明員に提案理由の説明を求めます。

本前総務課長。

○総務課長（本前武広） ただいま上程されました議案第1号、平成28年度長万部町一般会計補正予算（第4号）について、その内容をご説明いたします。

今回の補正額は、歳入歳出にそれぞれ1,885万8,000円を追加し、補正後の予算総額を43億9,645万1,000円とするものであります。内容は、補正予算書に添付しております概要により、歳出からご説明いたします。

衛生費、下水路整備費、工事請負費1,850万円の追加は、JR敷地内排水路整備工事で、町内温泉地区において、豪雨発生時に排水能力不足による浸水被害が生じていることから、JR敷地内の排水路整備工事を実施し、排水能力の向上を図るものであります。

農林水産業費、畜産振興費、需要費5万4,000円の追加は、消耗品費で、家畜伝染病対策用の防護服等の購入費用であります。

教育費、事務局費は30万4,000円の追加であります。内訳は、報酬11万2,000円、及び旅費2,000円の追加は、奨学金運営委員に係る報酬及び、費用弁償で奨学金制度の見直し検討に伴い、運営委員会の開催回数が増となることから計上するものであります。

賃金19万円の追加は、八雲町から通勤する特別支援教育支援員の通勤手当であります。

次に、歳入についてご説明いたします。

17繰入金、財政調整基金繰入金は1,885万8,000円の追加で、今回の補正で不足する財源を当基金から取り崩し収支の均衡を図るものであります。この基金取り崩し後の当基金残高見込み額は、12億238万1,000円となります。

以上が、ただいま上程されました平成28年度長万部町一般会計補正予算（第4号）の内容であります。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（辻義雄） これより質疑を行います。

質疑は、歳入歳出一括行います。

3頁です。ありませんか。

長崎議員。

○議員（2番 長崎厚） 衛生費の下水路整備費、JR敷地内排水路整備工事、排水不足によって支線を下の方のオイルトラップを回避して、下の方にもっていくものと前説明受けたんですが、それ本線の方が水量が多くて、その本線を迂回させないと問題解決にならないんじゃないかと思うんですが、どのような調査されたのか。

○議長（辻義雄） 神野建設課長。

○建設課長（神野隆之） ただいまの質問に対して、お答えいたします。

問題になっている管でありますけども、高砂方面から流れてくる高砂地区排水と、温泉地区から流れてくる温泉排水がオイルトラップの前で合流している形になっておりまして、問題になっているのが温泉側からくる排水でありますので、そちらの方をオイルトラップを迂回して下に流していくという方式をとっております。以上です。

○議長（辻義雄） 長崎議員。

○議員（2番 長崎厚） 温泉側の方が支流で、そこが1番水量が多いところだということですね。

○議長（辻義雄） 神野建設課長。

○建設課長（神野隆之） 流域面積の話になると思うんですけども、温泉側の方から流れてまいります流域面積ですけども、5万2,000㎡、これが温泉側の排水であります。そして、もう一つの高砂側の流域面積につきましては、7万5,000㎡となっております。流域面積的には、高砂の方が多くなっております。以上です。

○議長（辻義雄） 長崎議員。

○議員（2番 長崎厚） 本来であれば、そういう水が排水不足になる、雨でも何でも降ったら、そういうような時には、だからこそ本線の方の水の量を調整してやらないと元々は解決できない問題ではないかと思うんですが。これを支線から、5万2,000の方を迂回させたということ、意味が理由があるのかどうか。これ3点目で終わります。

○議長（辻義雄） 神野建設課長。

○建設課長（神野隆之） お答えいたします。

高砂地区からの排水につきましてはですね、JR敷地内の方を通した方がいいんじゃないかということなんですけど、2年前からJRと排水に関して協議をしております、JR側として8年前に重油を流出させたという過去がありますことから、排水中の油分に対して非常に慎重になっているということがございます。そのため、JRの方としても既存の油分離槽を通したいという強い希望がありましたため、油分離槽の高砂排水の迂回は、することはできないという形になっております。ただし高砂地区につきましては、比較的土地が高いこともありますので、今まで冠水したことはございません。また温泉の分からの合流がない分、油分離槽を通過する排水が少なくなりますので、よりスムーズな排水が期待できると思われれます。以上です。

○議長（辻義雄） 他にありませんか。

北川議員。

○議員（1番 北川佳嗣） いわゆるオイルトラップというのは、国交省のいうところの油水分離槽ということで理解していいんでしょうか。

○議長（辻義雄） 神野建設課長。

○建設課長（神野隆之） その通りです。

○議長（辻義雄） 北川議員。

○議員（1番 北川佳嗣） 以前ここ私も見たことあるんですが、この油水分離槽の右側にある集水桝っていうんですか、これはかなり深くてキャパシティがあるんですけども、この油水分離槽が結局、容量が少ないものですから、集水桝にいく前に油水分離槽がオーバーフローしてしまうと。それであるがために、2系統流れてきている雨水のルート1本をバイパスさせる。それで、問題は解決するだろうということでしょうか。

○議長（辻義雄） 神野建設課長。

○建設課長（神野隆之） そのような設計で考えております。

○議長（辻義雄） 北川議員。

○議員（1番 北川佳嗣） この地面がやはり低いんですね、こっちの方。温泉側。高さがですね。なので結局、高い所から低い所に逆流してしまうということなものですから、これ油水分離槽、法律的に車庫のそばにあるので、法律的に油水分離槽は設置しなければならないって多分法律でなってるんだと思うんですが、出来ればこれもう1本の高砂からくる方も、こっちの方が体積が多いつてことであれば、こちらをバイパスさせた方が、直接、油水分離槽通さないで、集水桝の方にバイ

パスした方が、確実に防げるんじゃないかというふうに思うんですけども。

○議長（辻義雄） 木幡町長。

○町長（木幡正志） そういう提案なってくると、修正案なんだよ。修正案。今、第4号で提案している1,850万の予算でこれをやりたいってことを提案してて、そしたら、北川先生の話が出ているのは、こうした方がいいあした方がいいって修正案を出されている。そういうことになるので、ちょっと調整していただきます。

○議長（辻義雄） 暫時休憩します。

10時11分 休憩

10時14分 再開

休憩前に引き続き会議を開きます。

神野建設課長。

○建設課長（神野隆之） ただいまの質問でございますけども、多い方の高砂も排水も迂回した方がいいのでないかというご質問でありましたが、高砂地区の排水につきましては、JR敷地内の排水も合流しておりまして、JRの方としてはこの2年間の協議の中で、どうしても油分離槽を通したいという意向もありまして、その上での合意という形になっております。また流量につきましても、高砂方面からくる流量に対して、油分離槽の容量は十分間に合うという計算になっておりまして、温泉地区からの、冠水被害が続く温泉地区からの排水のみ迂回するという形をとっております。以上です。

○議長（辻義雄） 他に質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

これをもって質疑を終わります。

討論ありますか。

〔「なし」の声あり〕

討論を終わります。

これより直ちに本案を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり、可決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎閉会宣告

○議長（辻義雄） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は、全て終了いたしました。

これにて平成28年第3回長万部町議会臨時会を閉会いたします。

どうもご苦労様でした。

10時16分 閉会
